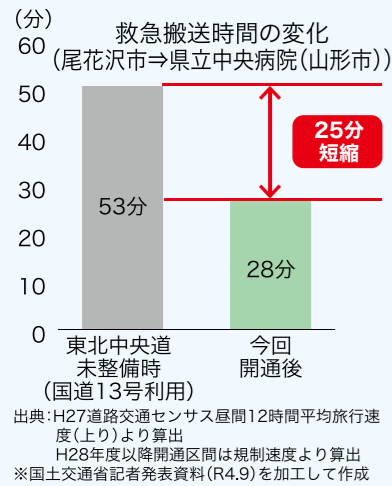
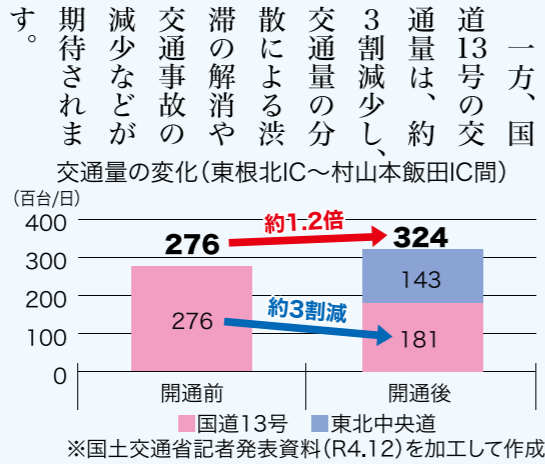


特集 未来へつなぐやまがたのみちづくり ～東北中央自動車道開通を生かす!～



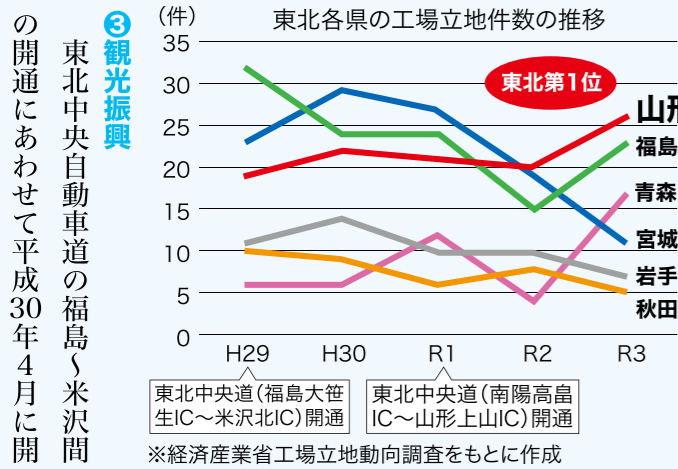
また、救急搬送時間が大幅に短縮され、救急医療の迅速性・安定性の向上にもつながります。



一方、国道13号の交通量は、約3割減少し、交通量の分散による渋滞の解消や交通事故の減少などが期待されます。

① 県民の利便性の向上・安全安心の確保

東根北IC～村山本飯田IC間の開通により利便性が向上し、1日平均の交通量は、国道13号と合わせて約1.2倍に増加しました。



東北中央自動車道の整備により、製造業や原料などの輸送時間の短縮、悪天候や災害に対応した複数の輸送ルートの確保など、企業の立地環境が向上し、沿線での企業立地の加速が期待されます。

引き続き、首都圏などの企業に県内進出を働きかけるセミナーを開催するなど、企業誘致に取り組んでいきます。

② 産業振興

東北中央自動車道の整備の進捗とともに、本県への工場立地が着実に進み、工場立地件数が令和2年および3年は東北第1位となりました。

東北中央自動車道の福島～米沢間の開通にあわせて平成30年4月に開業した道の駅「米沢」は、開業5年目の令和4年6月に来場者数が70万人に達しました。また、昨年の東根北IC～村山本飯田IC間の開通以降、沿線自治体から、「観光イベントに県外ナンバーの来訪が増えている」との声が聞かれます。今後も、東北中央自動車道開通を生かし、首都圏などから県内各地への誘客拡大に取り組んでいきます。

整備効果をもっと高める取組み

県では、未開通区間の早期開通に向けて高速道路の事業費の一部負担や、協力を進めているほか、利便性の向上や地域活性化のために追加のICやICアセス道路の整備を行っています。



東北中央自動車道利用促進「ドライブスタンプラリー」
令和5年3月31日まで実施中!

北村山・最上地域の観光スポットを巡って応募すると、抽選で「銀山や肘折の温泉利用券」などが当たります!



日本海沿岸東北自動車道

遊佐比子IC～遊佐鳥海IC間(1)が令和5年度、秋田県境区間の遊佐象潟道路(2)が令和8年度に開通する見通し。新潟県境区間の朝日温海道路(3)も整備中。

東北中央自動車道

令和7年度開通予定の新庄金山道路(4)のほか、金山道路(5)、秋田県境区間の真室川雄勝道路(6)も整備中。

※■の数字は、地図上の数字と対応しています。

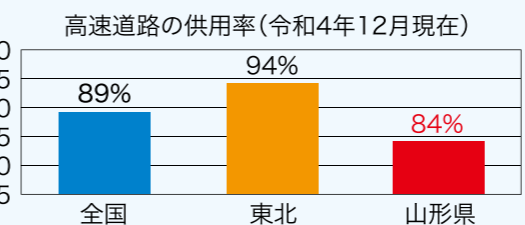
今後の県の取組み

県内の高規格道路ネットワークの一日も早い全線開通に向け、今後とも継続して、政府等に対し、整備促進の働きかけを行うとともに、国、沿線市町村、商工会議所などの関係機関と連携し、県内のみちづくりを着実に推進していきます。

また、利用促進につなげるため、

ホームページやYouTubeなどによる情報発信のほか、企業・団体と連携して開通情報や沿線のイベント情報の周知に取り組んでいます。

また、利用促進につなげるため、ホームページやYouTubeなどによる情報発信のほか、企業・団体と連携して開通情報や沿線のイベント情報の周知に取り組んでいます。



昨年10月に東根北IC～村山本飯田IC間が、11月に新庄鮭川IC～新庄真室川IC間(泉田道路)が相次いで開通しました。北村山地域から最上地域までが高規格道路ネットワークで首都圏とつながるとともに、これまでの開通により、新庄～福島間の所要時間は大幅に短縮しました。なお、今回の開通区間はいずれも無料区間であり、県内の東北中央自動車道の約6割は無料区間となっています。

これらの開通により、本県の高速道路の供用率は84%に向上し、高速道路が途切れている「ミッシングリンク」が1か所解消され5か所となったものの、全国や東北と比べてもさらなる整備が必要な状況です。

▶問い合わせ ◎ 高速道路整備推進室 ☎023-630-2403